

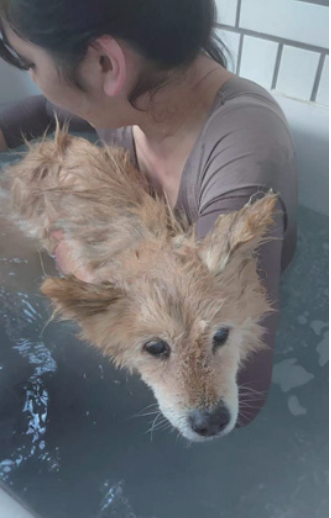
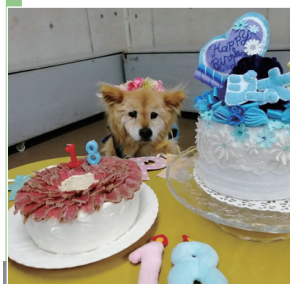


Knots NEXT 'One World, One Life'
公益社団法人Knotsツツ・結び目
WEBサイト <http://knots.or.jp>
[今号のメッセージ]

人とペットの共生環境研究所所長
しつけ方教室ドルチェカーネ・中塚主催
宮崎大学客員教授 中塚圭子さん



さき、ジー太のお世話をしようとふと顔を見ると、先ほどまでの



今後は、ジー太を見守ってくださった多くの人の縁を、これからの介護が必要な人びとへと、つなげていこうと思います。

公益社団法人Knots(結び目)は、「人と(ヒト以外の)動物の幸せな共生」をテーマに主に社会教育事業を行っています。
Knotsが日頃お世話になっております素敵な皆さまから、メッセージを頂くシリーズです。

2022年12月16日、愛犬ジー太が18歳9か月で天寿を全うしました。その日はとうとう水も飲まなくなり、焼き肉の匂い嗅らせると餉の傍らで寝ておりました。

ネットワークで乗り切る高齢犬介護

寝息がありません。生と死の境目が感じられないほどの大往生でした。ついに逝ってしま

た寂しさで胸がいっぱいですが、最後の最後まで身体を使い果たしたジー太がなんだか誇らしく涙はあふれませんでした。(数

日後、ジワジワ何かにつけ涙がうつすら滲む今日この頃なんですけれど)。

ジー太の高齢犬介護には、多くの人が関わってこられました。老犬になると24時間体制でお世話が必要で

3時間周期で起きるジー太に全集中でお世話をし、フラフラになった私を、夜型の主人は深夜から早朝にかけてお世話をしてくれました。

私が仕事をしている間はスタッフがお世話をしてくれます。また、刻み食から流動食へと、高齢犬

の変化に対応して手作り食を作ったり、排泄のためのマッサージに工夫を凝らしたりと、私と一緒に関護を手伝ってくれたのです。

おかげで高齢犬に対する工夫、知識は以前とは比べ物にならないほど増えていきました。もしも一人で介護していたら、辛く行き届かぬ介護になったことでしょう。

最期までジー太がふわふわで綺麗で居られたのは、友人である二人のトレーナーのおかげです。毎月、シャンプーではなく重炭酸湯に10分間、ジー太を抱いて一緒に入ってもらい、プロ用ドライヤーで手早く

被毛を乾燥させてくれたので、犬の負担も少なく皮膚のトラブルも一切ありませんでした。友人も高齢犬の扱いが上達したと言ってくれました。

長年ジー太を診てくれた獣医さんは、自然な形でジー太を見送りたいという私の方針をよく理解してくださり、死について話し合ってくださいました。具体的には当犬が飲食できなくな

ったときには最期が近いと受け止め、苦痛が出ないように看取る方法を伝授してくださったのです。

さらにつけ教室の生徒さんたちは、ずっとジー太と私を優しく見守り応援してくださいました。ジー太はレッスンを盛り上がってくると、トコトコ出かけて参加したり、眺めたりして楽しむことができました。

看取った経験のある生徒さんからは介護についての貴重な知識を沢山いただきました。まだ若犬の生徒さんからは、試行錯誤しながらの介護を見ることで、自然と知識が身についたと話してくれました。

ジー太を通じて、高齢犬の介護について、さまざまな方が助けられました。同時に、一緒に全員が

学ぶ機会になっていたと考えられます。5人に1人がペットを飼う時代特に高齢ペットについては仲間の助けが重要になっていきます。

しつけ教室、動物病院等で、高齢ペット教室という信頼ベースで与え合う人の集合体の場があると、そこでさまざまな知識の提供があり、縁を繋いで互いに交流することができ

ます。